

# 伊豆半島北東部の地殻変動\*

## Crustal Deformation in the northeastern Izu Peninsula

国土地理院

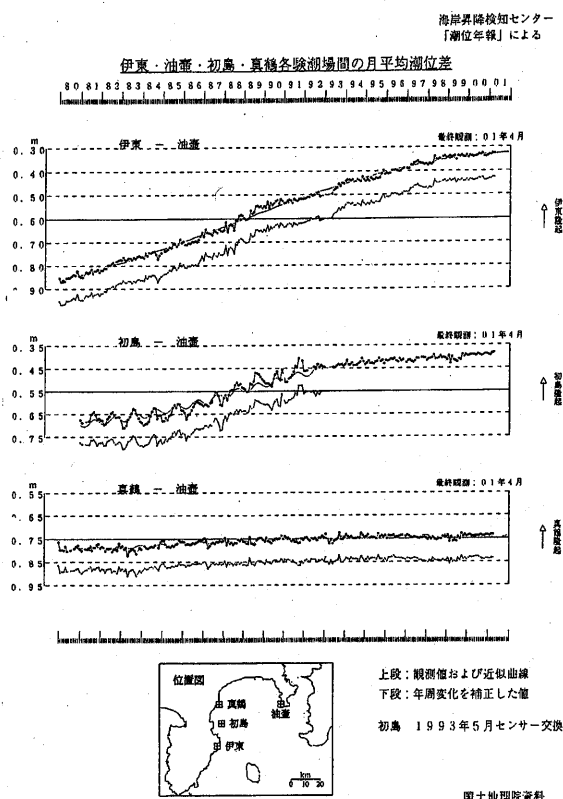
Geographical Survey Institute

伊豆半島の地震活動はこのところ平穏である。地殻変動においても目立った変化は起きていない。

第1図は、伊東、初島、真鶴と油壺の験潮場間の月平均潮位差である。伊東は周囲の験潮場に対して継続的に隆起していたが、1998年の中ごろから隆起速度が鈍化している。

第2図は、小室山-宇佐美間の光波測距儀による連続観測結果である。1998年4-5月の群発地震活動以降は顕著な変動は発生していないが、長期的には基線長はやや短縮する傾向にある。この傾向は、GPS観測の結果とも調和的であり、テクトニックな変形の可能性がある。

第3-1図は、伊豆半島東部のGPS連続観測点の配点図である。第3-2図は、各基線の基線長および比高の時系列である。GPS観測においても1998年の群発地震活動以降、顕著な変動は観測されていない。伊豆八幡野との基線に見られる比高のゆらぎは、地殻変動というよりはむしろこの点固有の問題である可能性が高い。

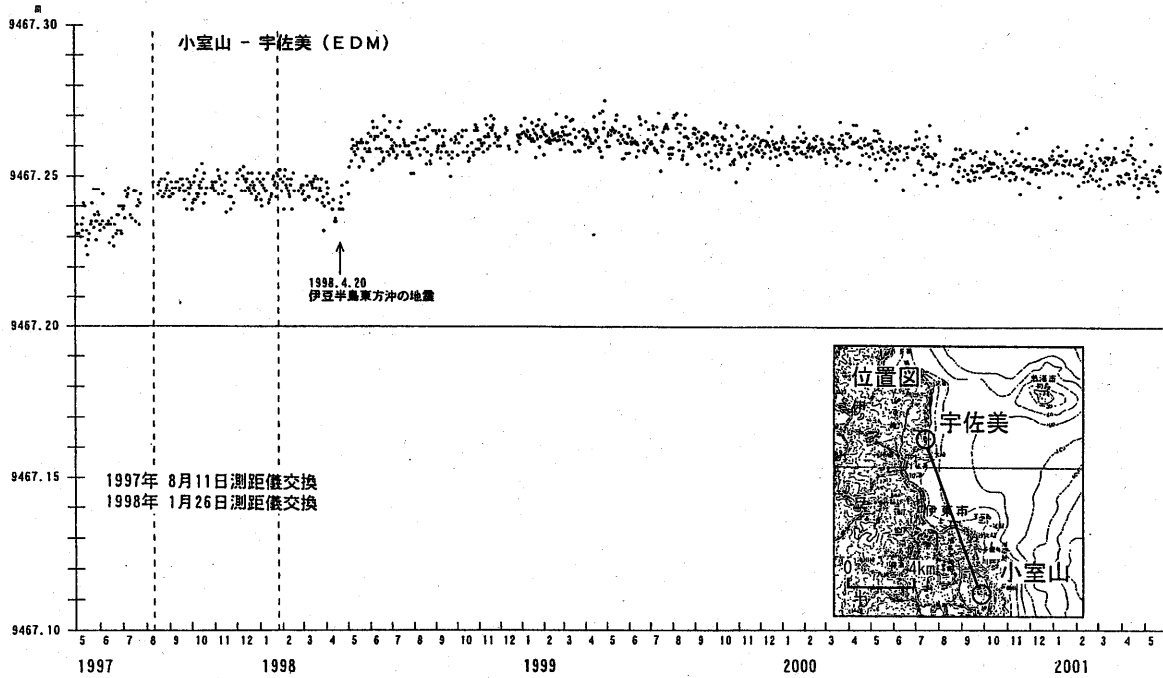


第1図 伊東、初島、真鶴と油壺験潮場間の月平均潮位差  
Fig.1 Time series plots of monthly mean differences between sea levels recorded at Aburatsubo, Ito, Hatsushima, and Manazuru tidal stations.

\* Received 29 Aug., 2001

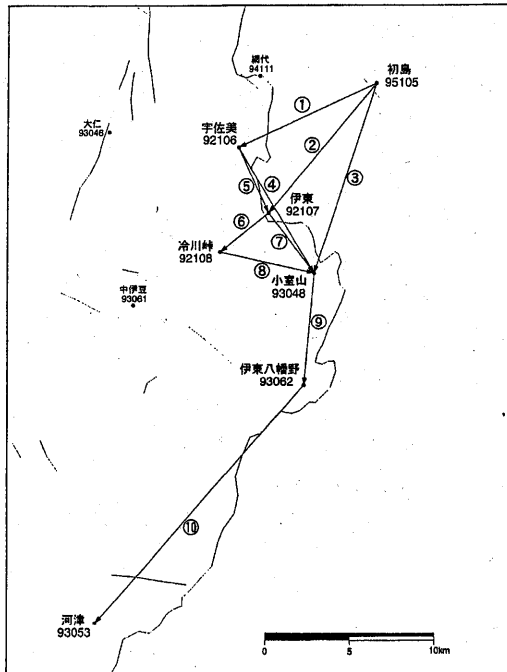
伊東東部連続観測（辺長）日平均結果

国土交通省国土地理院  
期間 97/05/01-01/05/22



第2図 光波測距儀による宇佐美-小室山間基線長変化時系列（1997年5月-2001年5月）

Fig. 2 Time series of distance between Usami and Komuroyama during the period from May 1997 to May 2001.



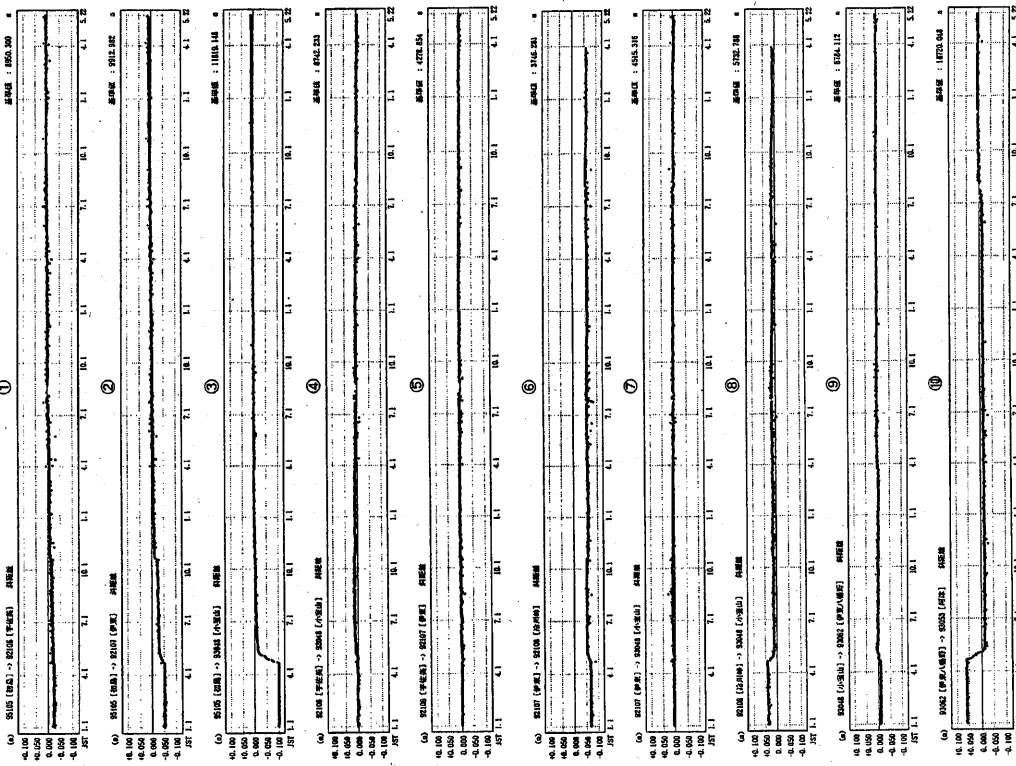
第3-1図 伊豆半島東部のGPS連続観測点配点図

Fig. 3-1 Map showing the continuous GPS observation points in the eastern part of Izu Peninsula.

国土地理院

基線長変化グラフ

期 間：1998年1月1日～2001年5月22日  
座標系：WGS-84

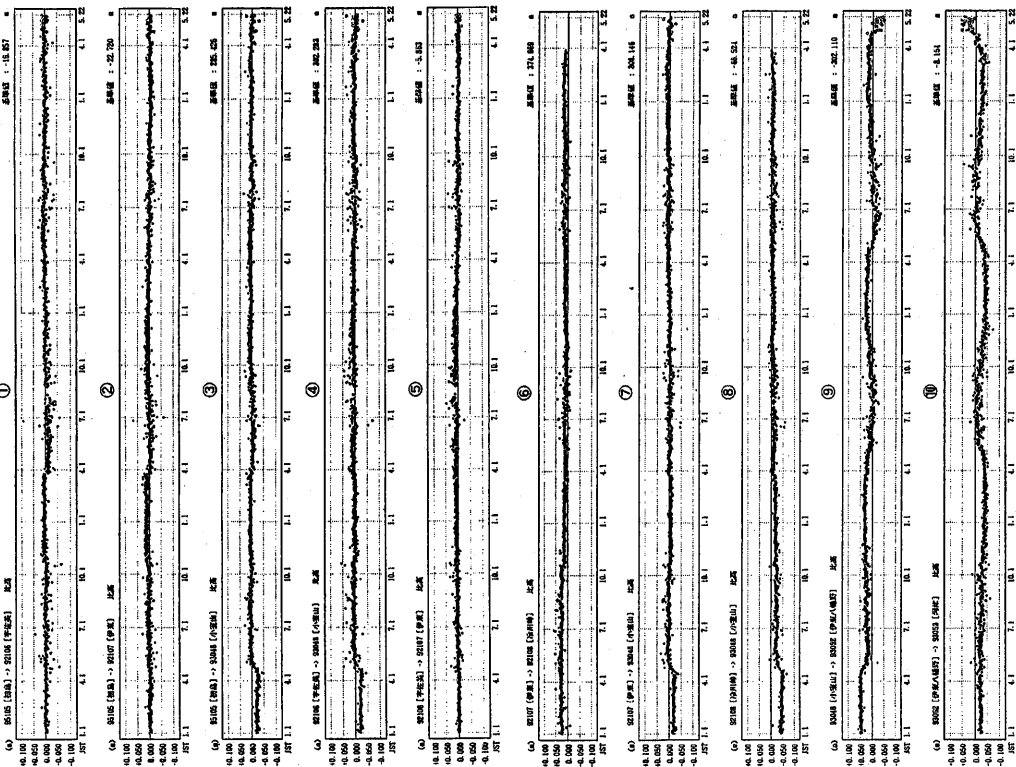


国土院提供

● --- Bermesd(WS) ○ --- Bermesd(OC)

比高変化グラフ

期 間：1998年1月1日～2001年5月22日  
座標系：WGS-84



国土院提供

● --- Bermesd(WS) ○ --- Bermesd(OC)

第3-2図 伊豆半島東部におけるGPS観測点間の基線長および比高変化 (1998年1月1日～2001年5月)  
Fig. 3-2 Time series plots of distance and height difference by the GPS measurements in the eastern part of Izu Peninsula during the period from January 1998 to May 2001.